

さくらほっと NEWS

vol.53
令和2年冬号

名市大病院さくらほっとNEWS

vol.53 令和2年冬号

発行：名古屋市立大学病院 発行責任者：院外広報誌編集会議（年4回発行）
〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川邊1 TEL 052-988-7114（経営課）

このコーナーは古紙・VVAを含む再生紙を使用しています。

豊川市との連携協定を締結しました

名古屋市立大学は、豊川市と連携に関する協定を締結しました。協定は、医療人材の育成や研究活動の活性化などの協力に関することを目的としており、高度医療の推進・地域医療を担う人材の育成、豊川市における救命救急や災害医療の充実、大規模災害・感染症などの発生時における相互援助などが盛り込まれています。令和2年7月22日（水）に行われた協定書締結式において、ご出席いただいた竹本豊川市長から「名古屋市立大学は、先に蒲郡市民病院と連携協定を結んでいるので、これからは三者でしっかりタッグを組んで地域医療に貢献していきたい」とのご挨拶があり、本学郡理事長より「豊川市民病院との連携により、さらに本学を大きく発展していきたい。当院と豊川市民病院とのつながりの歴史は大変古く、本学の優秀な学生も研修医として豊川市民病院に行っている。市長のリーダーシップにより、更なる信頼関係の構築をお願いしたい」との挨拶がありました。今後、この協定に基づき、医学研究科における寄附講座の設置や医師の人事交流等を予定しています。



締結式にて。下段左から西田豊川市病院事業管理者、竹本豊川市長、郡理事長、上段左から三島豊川市民病院特命管理監、松本豊川市民病院院長、小椋病院院長、道川医学研究科長、丹羽副理事長

来院するみなさまへお願い

- 来院時のお願い**
- 来院する際は、マスクの着用にご協力ください。
 - 赤外線サーモグラフィーによる検温、入退館時の手指消毒もしくは流水による手洗いをお願いします。
 - 平日は、**7：45以降**に正面玄関からお入りください。また、発熱している患者さん等は、外来受付でその旨をお伝えください。

- 面会禁止のお知らせ**
- 厚生労働省の指針に沿い、当面の間、**面会を禁止**させていただきます。以下の場合に限り、**ご家族に限り1名まで**の入館を許可しています。入館される場合には、病棟・中央診療棟1階防災センターにて毎回入館受付を行ってください。また、病棟にご用の際は入口のインターホンでお知らせください。
 - ▶ 付添いが必要と医師が判断した場合
 - ▶ 医師や職員から来院依頼があった場合
 - ▶ 入退院時の付添いをする場合
 - ▶ 必要物品の受け渡しをする場合（入館は15分程度に限る・病棟内へ入ることは出来ません）

名古屋市交通局より 地下鉄で来院するみなさまへ桜山駅のエレベーター更新工事のお知らせ

桜山駅のエレベーターの更新工事に伴い、駅のエレベーターがご利用頂けません。停止期間中は、車いす用階段昇降機（チェアメイト）で案内させていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

| | | |
|-------------------------|---------|------------------------------|
| 停止期間 | 改札階～地上 | 令和3年1月13日(水)から2月12日(金)まで(予定) |
| | ホーム～改札階 | 令和3年1月19日(火)から2月18日(木)まで(予定) |
| 連絡先 交通局設備課 052-972-3899 | | |



ダ・ヴィンチ導入に関わったみなさん

- 2台目のダ・ヴィンチを導入しました.....2
- 豊川市との連携協定を締結しました.....4
- 来院するみなさまへお願い
- 名市大病院のチカラ Vol.213
- 地下鉄で来院するみなさまへ桜山駅エレベーター更新工事のお知らせ

地域の医療機関と名古屋市立大学病院との連携

—— 当院の外来診療は予約制です。 ——

かかりつけ医療機関からご予約いただきご受診ください。



2台目 ダ・ヴィンチを導入！ 名市大病院が目指す最先端の医療とは

低侵襲手術センター



低侵襲手術センター
安井センター長

できるだけ精密で確実な手術を、痛みが少ない方法で実現したい。このような目標から傷が小さな腹腔鏡手術が可能となってきました。しかし、チームとしての経験、執刀医の能力が向上しても、道具によって手術の進化は制約されます。手術支援ロボットが人間の能力を補い、執刀医とチームの能力をさらに向上させる手術が、「ロボット支援手術」です。国内ではda Vinci(ダ・ヴィンチ)という機器が使用されています。本学では、2011年、ダ・ヴィンチSが導入され、2018年1月最新機種であるダ・ヴィンチXiに更新されました。本年6月には手術件数の増加に対応するため、2台目のダ・ヴィンチが導入されました。



写真(左)はロボットの本体となるペイシェントカート。術者は写真(右)のサージョンコンソールから3Dモニターをのぞきながら操作します。最新機種でより痛みが少ない治療が可能になりました。

ダ・ヴィンチに出来る手術とこれから

通常の腹腔鏡手術と比較して、3Dを伴い高精度な画像、微細な動きや、可動性のある鉗子による繊細な動作が可能です。ロボット支援手術は、2012年に前立腺がんが保険適用となり、2016年に腎がん、2018年には、肺がん、縦隔がん、食道がん、胃がん、直腸がん、膀胱がん、子宮体がん、2020年には、腎盂形成術など大きく適用が拡大しています。

2台目導入により高度な手術をすみやかに提供

これまでに、消化器外科、呼吸器外科、産婦人科、小児泌尿器科、泌尿器科の領域で約1,500名の患者さんのロボット支援手術(2020年8月現在)を行っています。ロボット先進病院である当院では、手術数が増加し、1台あたりの手術件数は全国でもトップクラスとなりました。それに伴い、手術を受けられるまでの待機期間が長くなる傾向がありました。2台目の導入によって、高度な手術をすみやかに提供できるようになります。手術を担当する診療科のほか、麻酔科、中央手術部、臨床工学室、看護部、病院事務が協力して、最先端の治療をより多くの患者さんに届けられるよう努めています。ロボット手術の執刀医や連携するスタッフの育成も重要な任務です。他施設からの見学なども受け入れており、本学で経験を積んだスタッフが、ロボット手術を全国に広めていただけると確信しています。今後も名市大では、ロボット支援手術による低侵襲手術の実施と教育による、最先端の医療の提供をめざしていきます。



ダ・ヴィンチを使用した手術中の様子

名市大病院のチカラ Vol.21

地域医療連携センター

患者さんと地域を繋ぐ架け橋



地域医療連携センターのみなさん

退院支援の仕事は、大学病院での治療は終わったものの引き続き療養を必要とする患者さんに連携病院への転院や在宅医療、施設入所の支援をおこなうことが中心です。8名の看護師と7名の社会福祉士が、その業務にあたります。継続して入院が必要な方には、連携している病院の機能に応じて調整をおこないます。また、『最期ま

で自宅で過ごしたい』と希望される方には、その期待に精一杯応えられるようご本人、ご家族と何度も話し合い、訪問診療医や訪問看護師、ケアマネジャーへとつないでいきます。必要な介護保険の申請や障害申請の相談にも応じます。

退院支援を行って送り出したその後も、当院での検査や治療の必要があれば、各診療科の医師や病棟棟長と連携し、当院での受け入れを調整するなど、患者さんを中心とした地域医療連携を心がけています。在宅支援では、連携ツール(はち丸ネットワーク)により、自宅での療養経過についてネットワーク上で情報交換を行うなど、ネット機能を積極的に活用した一歩進めた取り組みを行っています。患者さんやご家族の理解と、院内外の多職種の方々との綿密な連携に支えられながら、患者さんに寄り添う毎日です。患者さんと地域を繋ぐ架け橋になっています。

臨床工学室

チーム医療を支える『いのちのエンジニア』

臨床工学技士は、医学と工学の両面を兼ね備えた、現代医療に不可欠な医療機器のスペシャリストです。1987年に制定された比較的新しい国家資格です。人の生命維持につながる機能である呼吸、循環、代謝を代行する生命維持管理装置の操作及び保守点検が私たちの仕事です。

様々な現場で医療機器を通じ患者さんの治療に携わっています。手術室では、心臓手術の際、心臓や肺に代わる働きをする人工心肺の操作や、ロボット手術装置も管理しています。透析室では、病状を悪化させている物質を血中から除去する血液浄化療法を施行しています。集中治療室や心臓カテーテル室では、患者さんの呼吸を代行する人工呼吸器の管理や、緊急時には補助循環装置(ECMO)にも携わります。不整脈に苦しむ患者さんには、ペースメーカーの手術や外来において、機器の設定を調節しています。骨髄移植では、末梢血幹細胞採取を行っています。

当院には、不整脈治療専門臨床工学技士、体外循環技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士等、多数の専門認定士が在籍しております。また、認定臨床実習指導者を中心に優れた医療人の育成を目指しています。

医療機器の高度化・複雑化する臨床技術に対応する「いのちのエンジニア」としてチーム医療に貢献しています。



臨床工学室のみなさん

さくらほっと NEWS vol.53

令和2年
冬号 増刊号

当院における新型コロナウイルス感染症対策に対し、多くの企業、団体及び個人の皆さまより心温まるご寄附をいただきました。

この場を借りまして、職員一同、心より感謝するとともに、お礼申し上げます。

ご寄附いただきました医療物資等につきましては、当院における診療等に大切に活用させていただきます。

今後もより一層の感染症対策に取り組み、安全・安心な医療の提供に努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

病院長 小椋 祐一郎

6/1 愛知中パナソニックショップ会 様
ハンディファン



6/1 Kannon Wedding 様
バウムクーヘン・他



6/1 たまえ保育園 様
ガウン



6/2 壬辰化学株式会社 様
リケンテクノス株式会社 様
マスク・フェイスシールド・他



6/2 学校法人医学アカデミー 様
ポリエステルコート・フェイスシールド



6/4 中華人民共和国駐名古屋総領事館 様
マスク・ウェットティッシュ



6/5 ベストリンクインターナショナル株式会社 様
KN95マスク



6/9 銀座に志かわ 様
食パン引換券



6/15 名古屋商工会議所 様
N95マスク



6/19 名古屋華僑総会 様
マスク



6/19 VTホールディングス株式会社 様
防護服



6/23 株式会社アメーバホールディングス 様
お菓子(カヌレ)



7/7 株式会社UACJ 様・尾池工業株式会社 様
フェイスシールド・キーボードフィルム・他



7/8 株式会社デリーテクノ 様
次亜塩素酸水生成装置



7/21 株式会社ドコモCS東海 様
タブレット端末



7/22 Lico HAIR&RELAXATION 様
シャンプー



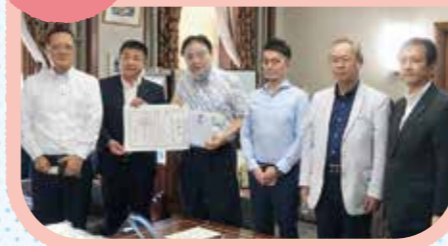
8/6 キョーイクホールディングス株式会社 様
サージカルマスク



8/18 株式会社豊田自動織機 様
医療用フェイスシールド



8/26 株式会社佐野塗工店 様
ガウン・アルコール消毒液・他



上記のほか、3つの法人、9名の個人のみなさまよりマスク、フェイスシールド、ガウン、飲食物、さくら基金へのご寄附など6月から8月末までに合計33件のご厚意をいただきました。

重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

ご寄附のご案内

明るい未来へ、七色の架け橋 ~名市大の果てしなき挑戦~ 開学70周年記念事業のご案内



名古屋市立大学では、開学70周年を機に、開学100周年を見据え、学生会館のリニューアルや各キャンパスにおける施設整備のほか、記念式典や記念誌の編さん等の記念事業を実施することといたしました。

本学のさらなる発展のため、皆様からの温かいご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

寄附金についてのお問い合わせ先

事務局総務課

Tel: 052-853-8005

受付時間: 月曜日から金曜日の
午前9時から午後5時まで

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/about/profile/memorial/70h.html>

開学70周年
記念事業



名古屋市立大学病院「さくら基金」のご案内



名古屋市立大学病院では、広くご寄附の協力を仰ぎ、「笑顔と感動」への架け橋として役立てることを目的としてさくら基金を設置しております。

皆様から寄せられた寄附金は、患者さんはもちろんのこと、当院に携わる方の視点も取り入れながら医療の充実を図るために活用させていただきます。

何卒、当さくら基金設置の趣旨をご理解いただき、ご寄附のお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

さくら基金についてのお問い合わせ先

経営課経営係さくら基金担当

Tel: 052-858-7113(直通)

受付時間: 月曜日から金曜日の
午前9時から午後5時まで

<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/for-patient/sakurafund/>

